

いじめのない，行きたくなる学校づくり（いじめ・不登校対策）全体計画

児童生徒の実態	学校教育目標	家庭・地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> ・日常的にささいなトラブルやいさかいは発生している。 ・不登校児童2人，別室登校 0人（1月末現在） ・休み明けに休む児童が増えている。 	確かな学力 豊かな心 健やかな体を育み 志を抱いて新しい時代を拓く子供の育成に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく，元気に，仲良く学校生活を送ってほしい。
	目指す児童像	教師の願い
	○かしこく ○やさしく ○たくましく	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童がお互いに尊重し合い，支え合いながら学校生活を送ってほしい。



学校の課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し指導しているが，学校の決まりを守ろうとする意識が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのない言動から，相手を傷つけてしまい，良好な友達関係を築けない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところより，悪いところに目が行き，認め合う気持ちが育っていない。



いじめのない，行きたくなる学校づくりのための重点		
【未然防止の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・子供のよいところを積極的にほめる。 ・子供同士でよいところを認め合う機会をつくる。 ・子供たちに学習規律を身に付けさせる。 	【早期発見・早期対応の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が，どの児童にもいじめや不登校は起こりうるという認識で接する。 ・いじめに関するアンケートを月1回実施する。 ・欠席1日目，2日目での丁寧な電話連絡を実施する。3日目になった場合は，家庭訪問を実施する。 ・登校支援個票，不登校等対応記録を作成活用し，対応を明確にしていく。 ・道徳教育の充実を図る。 	【自立支援の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・継続的，組織的な働き掛けをすることで，保護者との協力関係を構築する。 ・別室登校，放課後登校等の働き掛けを進めながら，学校復帰へのきっかけ，環境づくりを継続していく。



いじめ・不登校対策のための組織	いじめ・不登校対応の流れ	関係機関等との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議（月1回），打合せ（月1回）不登校傾向等，児童の様子を共通理解する。 ・いじめ・不登校対策委員会（年2回） ・いじめ問題対策会議（臨時）いじめの訴えがあり次第，開く。解決するまで適宜継続して開催する。 ・不登校対策会議（臨時）不登校が確認され次第，開く。解決まで適宜継続して開催する。 	1 いじめや不登校を確認次第，対策会議を持って役割分担の確認を行い，適宜開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問・・・担任 ・情報集約・・・いじめ・不登校担当 ・関係機関等への渉外・・・教頭等 2 SCによる保護者との面談やアセスメント 3 関係機関との連携 4 登校支援，環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・教育事務所の登校支援ネットワークの活用 ・大崎市の保健福祉課との連携 ・民生児童委員との連携 ・心のケアハウス



年間計画											
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
幼小引継ぎ	幼小引継ぎ 不登校対策委員会 ①	居住地確認 児童理解研修 ケース会議	幼小連携会① 民生児童委員学校訪問 大成塾プロジェクト①	教育相談 松中オープンスクール		不登校対策委員会 ケース会議		大成塾プロジェクト②	幼小連携会②		幼小連携担当者会② (修卒認定会) 児童理解研修 ケース会議 小中送り個票作成